



〒104-0044
 東京都中央区明石町10-1
 聖路加国際大学礼拝堂
 TEL 5550-2416
 TEL 5550-7043
 FAX 5550-7070
 E-mail: chapel@luke.ac.jp
 URL: <http://nssk.org/tokyo/church/luke>

2023年6月25日 No. 270



2023年4月28日 聖ルカ礼拝堂竣工記念礼拝

聖書を読む会

リモート (Zoom) で行っています。

第1・第3木曜日 午前10時 新約聖書 (上田司祭)

第2・第4火曜日 午後5時30分 旧約聖書 (関司祭)

ご関心のある方は、チャペルにお問い合わせください。

巻頭メッセージ

「私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」(マタイ福音書28:20)

礼拝案内

月・火・木・金曜日

■午前8時30分 朝の礼拝 トイスラーホール

水曜日

■午前8時30分 聖餐式 トイスラーホール

※第2水曜の礼拝は午前8時45分～

日曜日

感染予防のため休止になる場合があります。

■午前7時 聖餐式 トイスラーホール

■午前10時30分 聖餐式・説教 旧館チャペル

■午後5時 夕の礼拝 トイスラーホール

巻頭メッセージ

「私は世の終わりまで、いつもあなた
がたと共にいる」(マタイ福音書二八：一二〇)

司祭 バルナバ 関 正勝

この約束の言葉は復活されたイエスが弟子たちに再会されたとき語られた言葉です。イエスを主と信じて歩んできた者たちにとってイエスの死は深い悲しみと喪失感に襲われ、たに違いありません。聖霊降臨後の最初の主日は三位一体の主日としても守られます。意味深いことに思えます。三位一体としての神・創造者なる父である神、子なる神、聖霊なる神、その神は愛を本質として一体の神である、と教会は告白いたします。このような神の本質の告白は人々の救いを求める格闘から聖霊の導きのもとで誕生した信仰告白である、と言えましょう。救いを求めて、日々格闘している者にとって父だけである神、子だけである神、そして聖霊だけである神は「小さすぎる」。創造者である神は、私たちを生かし、力づけ、救つて下さるために万全を尽くして働いて下さっているとの経験が、すなわちマタイ福音書の神は「いつもあなたがたと共にいる」との告白に込められた信仰でもありましょう。

旧約聖書の最初の書は創世記ですが、そこには神による世界創造の意味を神は「無から」創造された

ことが語られます。そして神は「光あれ」という言葉を発せられていることが記されています。神の創造は「無」または「闇」と対立し、「光あれ」と命じられます。そして創造されたすべてを見て「それは極めて良かった」(創世記一：三二)と語られています。しかし、こう語られる世界はまだどこにもなく、したがって創造の世界は「未完」、こう語られる世界は創造が継続中に他なりません。神は依然として「無」また「虚無」へと誘う力に対抗して「あれ！」と世界に呼び掛け続けておられる。その呼び掛けに「神のかたち」すなわち「神の協働創造者」として創造された私たち人間は、神の創造を地上に引き継ぐ者として継続中の創造に参画することが求められている、と言えましょう。その働きによつて「極めて良かった」と言われる世界が現実となりましょう。「私たちと共にいて下さる神」は、私たちにそのような者で「あれ！」と命じ、励まし続けておられます。その神は三位一体の神に他ならないのですから。神の「あれ！」の声に応答する責任の主体としての私たちであります。